



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トリドール

コード番号 3397 URL <http://www.toridoll.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 栗田 貴也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 奥田 恭久

TEL 078-200-3430

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	39,659	13.6	2,689	△36.8	2,612	△37.1	681	△68.5
25年3月期第2四半期	34,920	17.5	4,257	21.1	4,154	22.6	2,163	33.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 851百万円 (△60.3%) 25年3月期第2四半期 2,145百万円 (32.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	17.34	17.33
25年3月期第2四半期	55.10	55.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	46,653	15,220	32.1
25年3月期	45,105	14,978	32.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 14,980百万円 25年3月期 14,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	16.50	16.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,400	12.0	4,300	△39.0	4,000	△42.1	300	△90.8	7.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

Dream Dining Corporation,
 Dream Dining California, L.L.C.,
 新規 4社 (社名) Hong Kong Dream Dining (Holding) Limited, 除外 1社 (社名)
 Hong Kong Dream Dining Limited

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	39,296,600 株	25年3月期	39,285,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	9 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	39,294,456 株	25年3月期2Q	39,260,832 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。
- ・平成25年11月5日(火)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀の財政・金融政策への期待から円安・株高が進行し、企業収益の改善や個人消費に明るさが戻るなど回復傾向がみられた一方、欧州の財政不安の長期化に加え、新興国の景気減速懸念などにより雇用・所得の改善には至っておらず、引き続き不透明な環境で推移いたしました。

外食業界におきましても、景気の回復による個人消費の回復への期待感はあるものの、景気の不透明感から本格的な需要の回復には至らず、引き続き経営環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社グループでは、国内におきましては、引き続き主力業態であります「丸亀製麺」を中心に69店舗を出店するなど、継続して新規出店に取り組むと共に、積極的な商品施策や認知度及び顧客満足度の向上とブランドの確立に向けた施策等を実施してまいりました。

また、海外におきましても積極的に出店を進め、直営店により14店舗（子会社の増加による7店舗含む）出店したほか、フランチャイズ等（以下、「FC等」という。）により13店舗を出店するなど規模を拡大してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間末の営業店舗数は前連結会計年度末に比べ、直営による店舗は78店舗増加して844店舗（うち、国内829店舗、海外15店舗）、FC等による店舗は12店舗増加して30店舗の計874店舗となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は396億59百万円（前年同期比13.6%増）となりましたが、販売費及び一般管理費の増加により営業利益26億89百万円（前年同期比36.8%減）、経常利益26億12百万円（前年同期比37.1%減）、四半期純利益6億81百万円（前年同期比68.5%減）となっております。

事業のセグメント別の業績は次のとおりであります。

<丸亀製麺（セルフうどん業態）>

丸亀製麺では、引き続き経営資源を集中させ、ロードサイド54店舗、ショッピングセンター内12店舗の計66店舗を出店したことにより、当第2四半期連結累計期間末の営業店舗数は756店舗となり、売上高は362億9百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

<とりどーる（焼き鳥ファミリーダイニング業態）>

とりどーるでは、店舗の増減はなく、当第2四半期連結累計期間末の営業店舗数は22店舗となり、売上高は12億70百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

<丸醬屋（ラーメン業態）>

丸醬屋では、1店舗を閉店したことにより、当第2四半期連結累計期間末の営業店舗数は16店舗となり、売上高は5億34百万円（前年同期比26.2%減）となりました。

<長田本庄軒（焼きそば業態）>

長田本庄軒では、新たに1店舗出店したことにより、当第2四半期連結累計期間末の営業店舗数は18店舗となり、売上高は4億87百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

<その他>

その他では、国内においては新たに2店舗を出店し、1店舗を閉店したことにより、当第2四半期連結累計期間末の営業店舗数は17店舗となりました。

なお、その他には「麺屋通り」、「グリル三番館」、「スージーおばさんのトマトパスタ」、「とん助」、「まきの」等が含まれております。

海外においては、直営店で3店舗を閉店し、14店舗（子会社の増加による7店舗含む）を出店したことにより、当第2四半期連結累計期間末の直営店による営業店舗数は15店舗となり、また、FC等による店舗で1店舗を閉店し、13店舗を出店したことにより、FC等による当第2四半期連結累計期間末の営業店舗数は30店舗となりました。

この結果、売上高は11億57百万円（前年同期比55.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ15億48百万円増加し、466億53百万円（前期比3.4%増）となりました。

これは主に新規出店に係わる設備投資、敷金及び保証金、建設協力金等が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ13億5百万円増加し、314億33百万円（前期比4.3%増）となりました。

これは主に積極的な設備投資のための資金調達により、長期借入金の合計額が前連結会計年度末に比べ13億74百万円増加したことによるものです。

純資産は、為替換算調整勘定の増加等により前連結会計年度末に比べ2億42百万円増加し、152億20百万円（前期比1.6%増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、58億67百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は35億20百万円（前年同期比3.6%減）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益を18億27百万円、減価償却費を20億47百万円、減損損失を7億37百万円、売上債権の減少額を4億27百万円計上した一方で、法人税等の支払による支出が15億38百万円あったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は51億25百万円（前年同期比23.3%増）となりました。これは主に新規出店に伴い、有形固定資産の取得による支出が41億1百万円、敷金及び保証金の差入による支出と建設協力金の支払による支出の合計額が7億23百万円あったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は6億29百万円（前年同期比108.0%増）となりました。これは主に長期借入金による収入が50億円あった一方で、長期借入金の返済による支出が36億25百万円、配当金の支払が6億48百万円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①平成26年3月期第2四半期連結累計期間における業績予想と実績との差異

当第2四半期連結累計期間におきまして、売上高に関しましては、国内の既存店における売上が前年を下回ったこと等により、計画を下回りました。また、営業利益及び経常利益に関しましては、原価改善により売上総利益率について改善が図れたものの、既存店の売上が計画を下回ったことや、朝営業の実施等による人件費及び水道光熱費等の経費増により減少いたしました。さらに、収益性の低下により投資回収が見込めなくなった店舗について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、減損損失737百万円を計上した他、それらを含む特別損失として787百万円を計上したことにより、当四半期純利益におきましても計画を大きく下回りました。

上記の結果、平成25年5月14日に公表いたしました平成26年3月期第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）の業績予想と実績との間に差異が生じました。

連結業績予想と実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	40,600	3,870	3,800	1,910	48.61円
今回実績 (B)	39,659	2,689	2,612	681	17.34円
増減額 (B - A)	△941	△1,181	△1,188	△1,229	—
増減率 (%)	△2.3	△30.5	△31.3	△64.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	34,920	4,257	4,154	2,163	55.10円

個別業績予想と実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	39,800	3,900	3,850	1,960	49.88円
今回実績 (B)	39,139	2,948	2,879	969	24.68円
増減額 (B - A)	△661	△952	△971	△991	—
増減率 (%)	△1.7	△24.4	△25.2	△50.6	—

②平成26年3月期通期における業績予想の修正及び配当予想の修正

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び足元の業績の推移を勘案し、引き続き既存店の売上が当初計画を下回って推移することが見込まれることから、平成25年5月14日に公表いたしました業績予想を以下のとおり修正いたします。

また、今回の業績予想の修正を踏まえ、配当予想につきましても以下のとおり修正いたします。

連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	82,000	7,430	7,200	3,300	83.99円
今回修正予想 (B)	79,400	4,300	4,000	300	7.63円
増減額 (B - A)	△2,600	△3,130	△3,200	△3,000	—
増減率 (%)	△3.2	△42.1	△44.4	△90.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	70,906	7,045	6,910	3,247	82.70円

個別業績予想の修正

(単位 : 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	80,000	7,680	7,500	3,600	91.62円
今回修正予想 (B)	77,600	5,100	4,900	1,100	27.99円
増減額 (B - A)	△2,400	△2,580	△2,600	△2,500	—
増減率 (%)	△3.0	△33.6	△34.7	△69.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	70,508	7,392	7,258	3,464	88.20円

配当予想の修正

(単位 : 円)

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想	—	17.00	17.00
今回修正予想	—	7.00	7.00
当期実績	—		
前期実績 (平成25年3月期)	—	16.50	16.50

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である東利多控股有限公司を通じてDream Dining Corporationの全株式を取得いたしました。これに伴い、Dream Dining Corporation並びに同社の子会社であるDream Dining California, L.L.C.、Hong Kong Dream Dining (Holding) Limited及びHong Kong Dream Dining Limitedは、当該各子会社の資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当するため、当社の特定子会社に該当し、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,762	5,867
営業未収入金	1,265	846
商品	3	4
原材料及び貯蔵品	169	196
繰延税金資産	480	584
その他	844	899
流動資産合計	9,525	8,398
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,093	18,174
工具、器具及び備品(純額)	2,319	2,667
リース資産(純額)	3,038	3,339
その他(純額)	737	423
有形固定資産合計	23,189	24,604
無形固定資産	235	486
投資その他の資産		
投資有価証券	246	436
敷金及び保証金	4,425	4,559
建設協力金	5,406	5,733
繰延税金資産	876	1,177
その他	1,217	1,273
貸倒引当金	△16	△15
投資その他の資産合計	12,155	13,164
固定資産合計	35,579	38,255
資産合計	45,105	46,653
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,784	1,599
1年内返済予定の長期借入金	6,067	6,468
リース債務	175	169
未払法人税等	1,632	1,643
賞与引当金	241	273
店舗閉鎖損失引当金	—	44
その他引当金	—	2
その他	5,060	4,560
流動負債合計	14,962	14,762
固定負債		
長期借入金	10,962	11,935
リース債務	3,356	3,772
資産除去債務	791	896
その他	54	66
固定負債合計	15,164	16,670
負債合計	30,127	31,433

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,348	1,357
資本剰余金	1,406	1,415
利益剰余金	11,947	11,980
自己株式	—	△0
株主資本合計	14,701	14,752
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	58	227
その他の包括利益累計額合計	58	227
新株予約権	217	239
純資産合計	14,978	15,220
負債純資産合計	45,105	46,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	34,920	39,659
売上原価	8,607	9,588
売上総利益	26,312	30,070
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	22,054	27,381
営業利益	4,257	2,689
営業外収益		
受取利息	47	52
その他	48	67
営業外収益合計	95	120
営業外費用		
支払利息	169	180
その他	29	16
営業外費用合計	199	196
経常利益	4,154	2,612
特別利益		
新株予約権戻入益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	5
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	44
減損損失	50	737
特別損失合計	50	787
税金等調整前四半期純利益	4,104	1,827
法人税、住民税及び事業税	1,974	1,551
法人税等調整額	△33	△405
法人税等合計	1,941	1,146
少数株主損益調整前四半期純利益	2,163	681
四半期純利益	2,163	681

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,163	681
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△17	119
持分法適用会社に対する持分相当額	—	49
その他の包括利益合計	△17	169
四半期包括利益	2,145	851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,145	851

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,104	1,827
減価償却費	1,788	2,047
減損損失	50	737
株式報酬費用	27	30
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	5	32
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△14	44
受取利息	△47	△52
支払利息	169	180
店舗閉鎖損失	—	5
売上債権の増減額(△は増加)	65	427
たな卸資産の増減額(△は増加)	△23	△22
仕入債務の増減額(△は減少)	△72	△200
未払消費税等の増減額(△は減少)	△245	△62
未払金の増減額(△は減少)	186	212
未払費用の増減額(△は減少)	146	△77
その他	71	113
小計	6,216	5,242
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△170	△183
法人税等の支払額	△2,394	△1,538
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,651	3,520
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,256	△4,101
無形固定資産の取得による支出	△41	△52
敷金及び保証金の差入による支出	△405	△182
敷金及び保証金の回収による収入	30	67
建設協力金の支払による支出	△602	△540
建設協力金の回収による収入	177	202
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△310
関係会社株式の取得による支出	—	△136
その他	△60	△71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,158	△5,125
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	101	—
長期借入れによる収入	3,700	5,000
長期借入金の返済による支出	△2,803	△3,625
リース債務の返済による支出	△102	△108
配当金の支払額	△608	△648
その他	14	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	302	629
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	80
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△227	△895
現金及び現金同等物の期首残高	7,639	6,762
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,411	5,867

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。